

富士宮 3代目会頭決める総選挙

市民の投票も受付

富士宮市西町の富士宮市西町公民館で開かれる。初代・飯島大さん、2代目・中村真緒さんに続き3代目の会頭を決める総選挙となる。

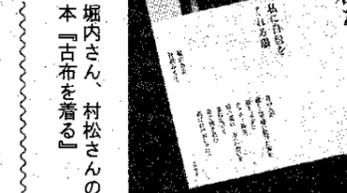


立候補しているのは、富士宮東高校2年の松平桃香さんと富士宮西高校2年の遠藤祐太さん。Cが常に地域を見つめ、魅力を引き出す組織であるようにする。ニフエストはV FHSの認知度を高める。Cの認知度を高める。Cの認知度を高める。

古布使った作品づくり

堀内さん、村松さん 活動を一冊の本に

村松さんは20年以上前から趣味の一つで古布のパッチワークを楽しんでいる。その作品を見て自己流で古布の服作りを始めたのが堀内さん。文具の蔵Riheiで2年に1度の展示会を開いたことを契機に、専門雑誌などにも作品が掲載されるようになった。



堀内さん、村松さんの作品や活動を1冊の本で紹介したいと、2年間かけて撮影や編集を行った。堀内さんは「スタジオオで撮るときにはごだわりのある部分をピックアップして、きれいな写真に撮らせてくれた。写真撮るときは恥ずかしいと思いましたが、最後のページに掲載されている。2

楽校の芝生を久しぶり走って撮ったもの。あれは楽しかった」と撮影秘話を明かす。著書では、古布をパッチワークのように重ねた洋服や、柄をうまく利用したズボンやスカートを紹介しているほか、もんぺ、着物、かやなど素材によって異なる作り方や、布バッグ、ブラウス、スカート、ワンピースの作り方も紹介している。

現金230万円 だまし取られる 富士宮市内の女性(83)が現金230万円をだましとられたと7日、富士宮署に届けた。調べによると5日、女性宅に息子をかたる男から電話があり、「どのにポリープができてた。財布と携帯電話を落とし、財布の中から会社のキャッシュカードが盗まれた。決済をしなければならぬのでお金を用意してほしい」と言われた。女性は現金を用意して翌6日に同市内の駐車場で息子の上司を名乗る男に現金230万円を手渡し、だまし取られたもの。同署では「現金を用意して代理人に渡してほしい」は詐欺。電話があったら、まず家族と警察に連絡してほしい」と呼び掛けている。

随想

1冊の本が届けられた。米津博義氏の『里山日和』だ。昨年10月に僕たちのコンサートに見えられ、そのとき共通の友人かでもっと多くを語り合いたかったという願いばかりが募ってならぬ気がした。

秋に出会う 文章であれ写真であれ、人の心を掴むのは至難の業だ。その上、向き合つものに生きる力を与えられるとなれば、作者の生き様や感性が大きく左右するといわざるを得ない。

篠 聖明

文章であれ写真であれ、人の心を掴むのは至難の業だ。その上、向き合つものに生きる力を与えられるとなれば、作者の生き様や感性が大きく左右するといわざるを得ない。

25年村の

○1992年度、30%下回る形となりの政府売り渡し米出り、国の増反(増収)荷は11月未でほぼひと段落。相、買い上げ価格が、富士地区2市1町の据え置きの中では呼成績はいつになく不びかけに配慮の意欲振。割り当てを20は薄いようだ。

野中2区で地域防災訓練

区民550人が負傷者救出などに励み



中学生による消火訓練。富士宮市野中2区で実施。区民550人が参加し、各種訓練に取組んだ。訓練に先立ち、自主

防犯部長は「災害時には隣近所で助け合い、支え合つことが必要。単に同じ地域に住んでいるのではなく、隣近所に目配りをする『暮らし』に『人』になってほしい」と呼びかけた。新型の担架による負傷者の救出訓練や、消防団第9分団員の指導による救護、消火訓練を展開。中・高校生も積極的に訓練に取り組んだ。また、同区自主防犯部員は同区が被災地となったことを想定し、空き巣盗難防止のための車両と徒歩によるパトロールも行った。

『里山日和』は氏が生涯を通して編んで来た文と写真で構成されている。氏が愛してやまない万野原を中心としたかつての郷土への想いを氏の視点で自然や人々の姿をあざやかに

40年来の友人である近藤正寛氏の写真展を鑑賞したのもこの秋だ。『川の貌』モノクロームの富士川。『旅の記憶』。6年ぶりの個展。作品のすべてに鬼気迫るものが映し出され、唸りながら作品のひとつひとつと対峙した。そこには一切の妥協や使い古された技巧は微塵も感じられず、一心に敢然と存在するもの

おのこの教室

おのこの教室(富士宮市沢町) 10時~18時

おのこの通信

おのこの通信(8日・金)